

加しようと思うようになりました。新冠では、色々な事業が開かれているので、とてもありがたいです。最近では、女性コミュニティ会議の料理教室に参加させてもらいましたが、参加料も手ごろで、勉強になりました。事業内容によっては、「敷居が高いかな」とか、「子どもと一緒に大丈夫かな」と心配になることもあります。私は仕事があり、なかなか事業に参加することができません。「参加したいけど行けない。」いつも、そんなジレンマの中で生活しています。



私も仕事をしているので、もっと早く事業の予定がわかると嬉しいです。今は2週間ほど前に周知されていますが、勤務の調整を考えると、1カ月くらい前にわかると助かります。●事業とかに興味がある人は、きちんと情報を集めているので、日程だけでもわかると思います。●広報や町政事務は家に配られる日が遅いことがあります。過去には、事業が既に終わっていたり、人気がある事業は、定員になってしまい参加できないということがありました。●私は、当日まで予定がわからないことが多いので、募集人数が少なくて予約制だったりすると参加できないことがあります。

子どもが見える喫茶店で休憩していることもできます。そして、週末には、様々な体験事業も開かれていて、最近では、しいたけの駒打体験とか、縄跳びの二重跳び講習会などがありました。●二重跳び講習会は行きたかったんですが、予定が合わず参加できませんでした。子どももすごく残念そうでした。●先生の都合がつけば、いつでも教えてくれると思いますよ。●市街地だと運動できるのですが、山間部を運転する自信がありません。●お互い、目的地までの足がないという意味では、同じ状況ですね。●週末はメロディー号に乗って、こたがわ学園に行くのもいいですね。



●山間部では、子どもが小さいうちは、「自然の中で育ててきて、環境が良い」という話を聞きますが、子どもが小学生や中学生になり、進路を考えると、転出してしまいうる人がいます。●そうですね、学力をつけることを考えると、町外に出ようと考えてる人が多いですね。●私はこの地域で育ちましたが、当時は、勉強する人は、早くに苦小牧や札幌に出ています。●皆さんは、子どもは町外に出たい

●山間部からだて移動時間もかかり、さらに参加しづらくなります。そういう意味では、損をしていると感じることもありますね。●もしかししたら、町外の人は、新冠で色々な事業が開かれていることをあまり知らないかもしれないですね。色々な事業をアピールできれば、町の魅力になるかもしれないですね。●イベントなどがある時は、お子さんは、どうしていますか？●子どもは旦那に見てもらおうので、夫が不在の時は参加できません。●私の家も、旦那の残業がある時は、参加できません。●子ども向けと大人向けのイベントを同時に企画してもらえると、一緒に参加することができそうです。

●少年団や習い事について●以前は、少年団などの一覧がなく、事務所で連絡先を聞き自分で問い合わせをしていました。●最近、町の文書で少年団の一覧が配られました。●「ど・こーれ」や「ジャズ」などの情報は、掲載されていませんでした。●子どもたちが参加できるサークル全部の一覧



ですか？●私は高校までは新冠で育てたいと考えています。スポーツや芸術の分野に進むのであれば、町外に出る必要がありますが、勉強を頑張ることはどこでもできるので、ここで頑張ったらいと思えます。●私の子どもは、高校から町外に出たいと言っています。●田舎しか知らないことで、「都会に出てはじめてしまわないかな？」とか、「人間関係は大丈夫かな？」とか、色々心配になります。



●山間部では、通学の事情もあり、子育ては15才までという話しも聞きます。都会では、学校も職場も家から通える時間があるので、この地域は、子育てができる時間がとても短いですね。●学校も含め、習い事も、選択肢が少ないことが「仕方ない・・・」と思うこともありますが、それでも昔よりは増えているし、そのような状況だからこそ、そこにある一つひとつにありがたみを感じます。●そうですね。「仕方ないけど、ありがたい・・・」本当にそう思います。

子育て真っ最中のお母さんに向けて●働くことも大変ですが、子どもと向き合い一日中子育てをしているのは、

があるとかわりやすいですね。また、参加できる学年などの情報も書かれていけば、なお、ありがたいです。●町の企画だけではなく、サークルとか地域の行事など、子どもに関係したイベントが全部まとめて掲載されているものがあれば便利ですね。●他にも、事業の年間の行事予定表があると良いですね。行事内容まで決まっていなくても、事業日だけでもわかればありがたいです。●広報 情報はどのように集めますか？●広報や町のチラシ（町政事務委託文書）です。（全員うなずく）●広報 町のホームページは見ますか？●ほとんど見ないです。（全員うなずく）●山はネットが遅いので、あまり見ることがないです。ネット難民です。情報源は、ほとんどが広報誌です。

●習い事とコミュニティバス●山間部の親の悩みの一つが、子どもの習い事の送迎ができないことです。迎えだけであれば、仕事が終わった後にも行くことができますが、送りも含めると、運転だけで2時間かかってしまうので、結果として、習い事をさせてあげられません。●広報 コミュニティバスを利用するのはどうですか？●システムが良く分からないです（全員うなずく）

もつと大変だと思えます。子どもとだけ一緒にいる時間が続くと、どうしても精神的にきつくなってしまうと思います。●子育てだけをしていると、気持ち低迷してしまうというか、モチベーションが下がってしまうんです。だからこそ、それを引き上げるきっかけも重要になると思えます。

●私は、子育てに必死だった時、すぐく楽しんで子育てをしているお母さんに出会い、その出会いがとても大きな転機となりました。●その出会いがあったからこそ、自分も外に出ようと思うようになったし、その人と同じように子どもを連れて外に出ようと思えるようになりました。●私も、自分の子育ての理想に押しつぶされて、回りの人の話を聞く余裕が全く無い状況がありました。●そのようなとき、保健福祉課が企画する母親教室で、気の合う人と出会い、それから、外に出られるようになりました。●子育てしている人はみんな一緒だと思えます。今となつては笑い話ですが、子育てだけしている時は、回りも見えず本当に大変でした。●私はまだその中にもいるかも。笑●子育てをする中では、子どもとまっすぐに向き合う時間もとても重要だと思います。

しかし、それだけでは精神的にもきつくなってしまうので、切り替えていくことも重要で、その切り替えたいと

●メロディー号ですよ？システムがわからなく使ったことが無いです。●町政事務のチラシを見ましたが、色々な世代や地区の情報がたくさん載っていて、内容をきちんと理解するところまで行きませんでした。●広報 役場に電話をいただけたら、利用者の状況に合わせて説明できます。●役場に電話するのは、敷居が高いというか、「こんなこと、わざわざ電話して聞いてもいいの？」と思ってしまう、電話をかけた方がいいです。●広報 悩む前に、まず一回、電話をしてみてください。●また、山間部のお子さんが平日バスを利用するのであれば、夕方、朝日小の前を通るので、それに乗れば市街地まで来ることができそうです。



●時間などがわかれば知りたいです。●広報 子どもが利用する想定は、チラシがあると良いと思います。●それがわかりやすいと思います。

●山間部の魅力とイベント●広報 山間部には、魅力的な場所やイベントがいくつもあります。市街地の人は、知らない人が多いかと思いますが。●山間部では、ディマシオ美術館などで、よくイベントをやっています。●また、こたがわ学園には、広いグラウンドと、食事ができる喫茶店があるので、子どもは外で遊ばせて、親は

思うタイミングで、気軽に参加できる子育てサークルや役場の事業などがあることが大事だと思います。●乳児健診では、同じ世代の親に会えるし、ブックスタートや読み聞かせもやっています。また、子育てサークルや親子を対象とした事業も色々開かれていることは、ありがたいことですね。●本当にそう思います。そして、今まさに子育て中で「大変だ！」と思っている人にも、この話しを読んでもらって「自分だけじゃない、みんな同じで大変だったんだ」ということを知って欲しいと思うし、状況を変えられる機会も回りにたくさんあると思うことを知って欲しいと思います。●おわり



座談会では、子育てを経験してきた人たちがわかる、色々な話しを聞かせていただきました。●これらは、個人的な意見であり、皆さんに共通する内容とは限りませんが、一つの意見として参考になることが多くあるかと思えます。●また、子育てを頑張る方々にも心強いメッセージをいただきました。●参加していただいた4名の皆さんどうもありがとうございました。